

12. 男女共同参画について

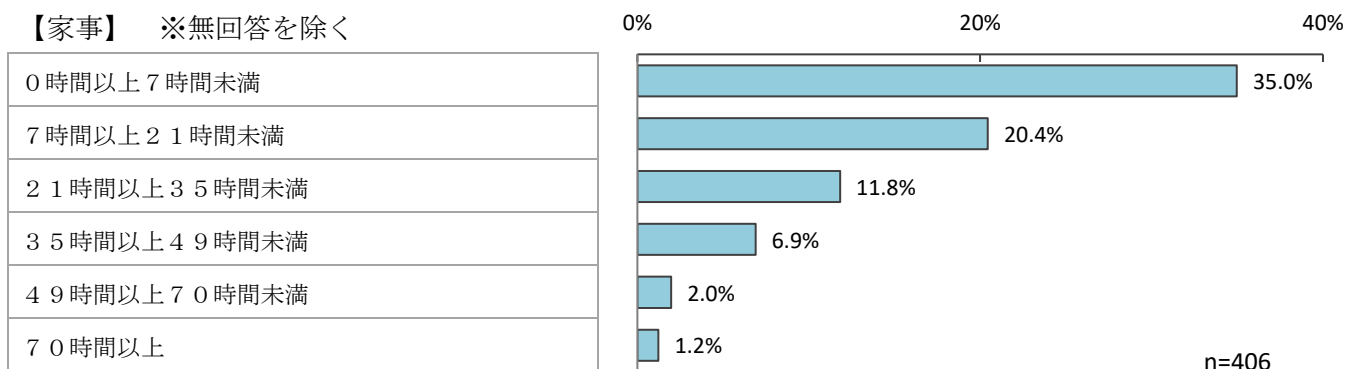
(1) 家事・育児・介護それぞれに費やした時間

◇ 家事・育児・介護それぞれ「0時間以上7時間未満」が約3割から約4割

問36 1週間の生活の中で、家事・育児・介護それぞれにおおよそどの程度の時間を費やしましたか。

【家事】		n=406
1	0時間以上7時間未満	35.0%
2	7時間以上21時間未満	20.4%
3	21時間以上35時間未満	11.8%
4	35時間以上49時間未満	6.9%
5	49時間以上70時間未満	2.0%
6	70時間以上	1.2%
	(無回答)	22.7%

<図IV-12-1>全体



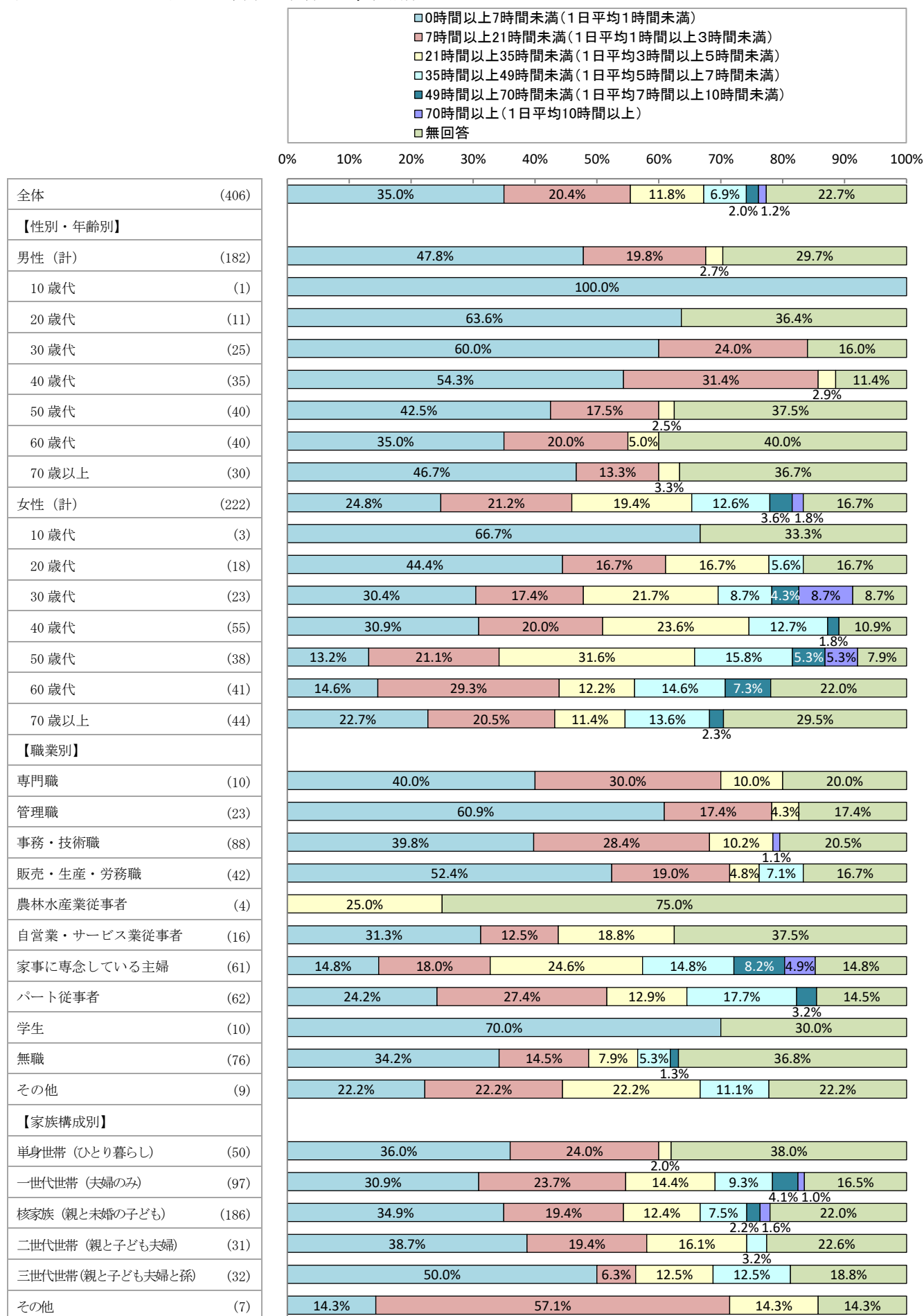
家事に費やした時間については、「0時間以上7時間未満」が35.0%で最も高く、次いで「7時間以上21時間未満」が20.4%、「21時間以上35時間未満」が11.8%と続いている。(図IV-12-1)

性別・年齢別でみると、「0時間以上7時間未満」は<男性/20歳代>が63.6%で最も高く、次いで<男性/30歳代>が60.0%と続いている。「7時間以上21時間未満」は<男性/40歳代>が31.4%で最も高く、「21時間以上35時間未満」は<女性/50歳代>が31.6%で最も高かった。(図IV-12-2)

職業別でみると、「0時間以上7時間未満」は<学生>が70.0%で最も高く、次いで<管理職>が60.9%と続いている。「7時間以上21時間未満」は<専門職>が30.0%で最も高く、「21時間以上35時間未満」は<家事に専念している主婦>が24.6%で最も高かった。(図IV-12-2)

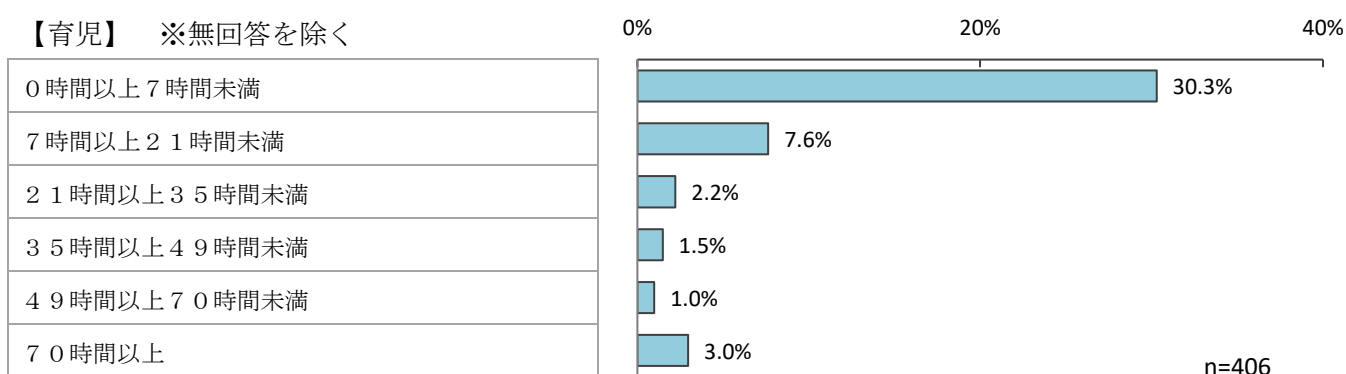
家族構成別でみると、「0時間以上7時間未満」は<三世帯世帯(親と子ども夫婦と孫)>が50.0%で最も高く、次いで<二世帯世帯(親と子ども夫婦)>が38.7%と続いている。「7時間以上21時間未満」は<単身世帯(ひとり暮らし)>が24.0%で最も高く、「21時間以上35時間未満」は<二世帯世帯(親と子ども夫婦)>が16.1%で最も高かった。(図IV-12-2)

<図IV-12-2>性別・年齢別/職業別/家族構成別



【育児】		n=406
1	0時間以上7時間未満	30.3%
2	7時間以上21時間未満	7.6%
3	21時間以上35時間未満	2.2%
4	35時間以上49時間未満	1.5%
5	49時間以上70時間未満	1.0%
6	70時間以上	3.0%
	(無回答)	54.4%

<図IV-12-3>全体



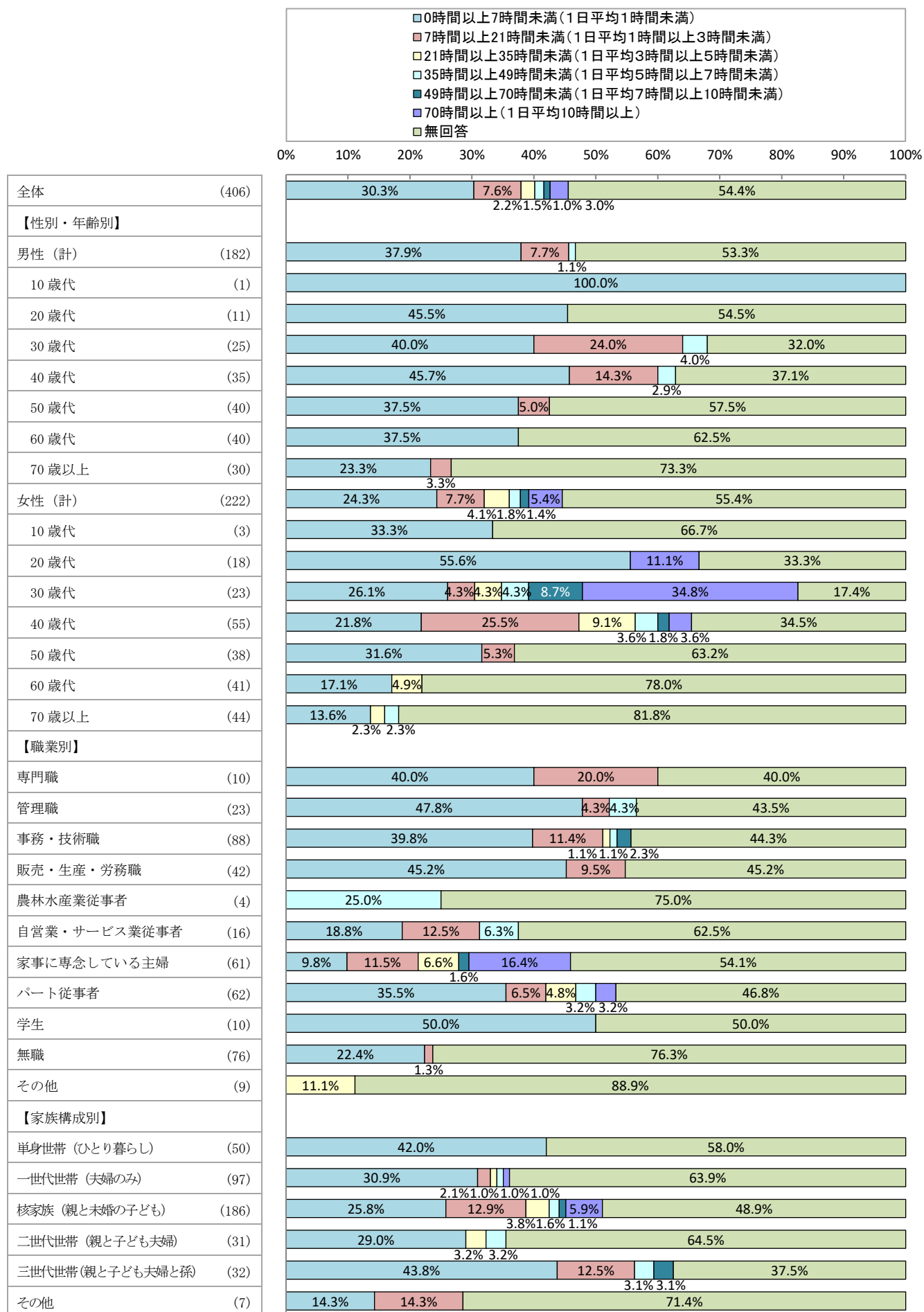
育児に費やした時間については、「0時間以上7時間未満」が30.3%で最も高く、次いで「7時間以上21時間未満」が7.6%、「70時間以上」が3.0%と続いている。(図IV-12-3)

性別・年齢別で見ると、「0時間以上7時間未満」は<女性/20歳代>が55.6%で最も高く、次いで<男性/40歳代>が45.7%と続いている。「7時間以上21時間未満」は<女性/40歳代>が25.5%で最も高く、「70時間以上」は<女性/30歳代>が34.8%で最も高かった。(図IV-12-4)

職業別で見ると、「0時間以上7時間未満」は<学生>が50.0%で最も高く、次いで<管理職>が47.8%と続いている。「7時間以上21時間未満」は<専門職>が20.0%で最も高く、「70時間以上」は<家事に専念している主婦>が16.4%で最も高かった。(図IV-12-4)

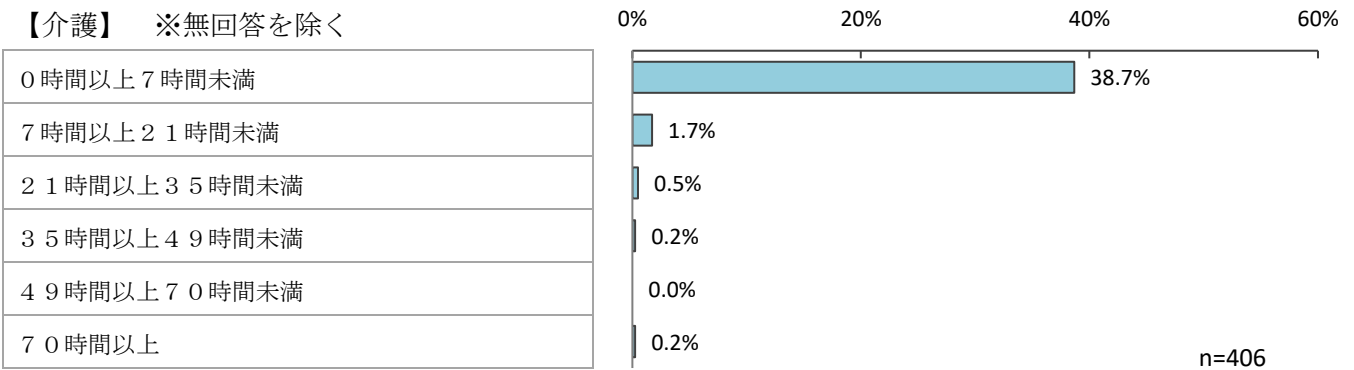
家族構成別で見ると、「0時間以上7時間未満」は<三世帯世帯(親と子ども夫婦と孫)>が43.8%で最も高く、次いで<単身世帯(ひとり暮らし)>が42.0%と続いている。「7時間以上21時間未満」は<核家族(親と未婚の子ども)>が12.9%で最も高く、「70時間以上」は<核家族(親と未婚の子ども)>が5.9%で最も高かった。(図IV-12-4)

<図IV-12-4>性別・年齢別/職業別/家族構成別



【介護】		n=406
1	0時間以上7時間未満	38.7%
2	7時間以上21時間未満	1.7%
3	21時間以上35時間未満	0.5%
4	35時間以上49時間未満	0.2%
5	49時間以上70時間未満	0.0%
6	70時間以上	0.2%
	(無回答)	58.6%

<図IV-12-5>全体



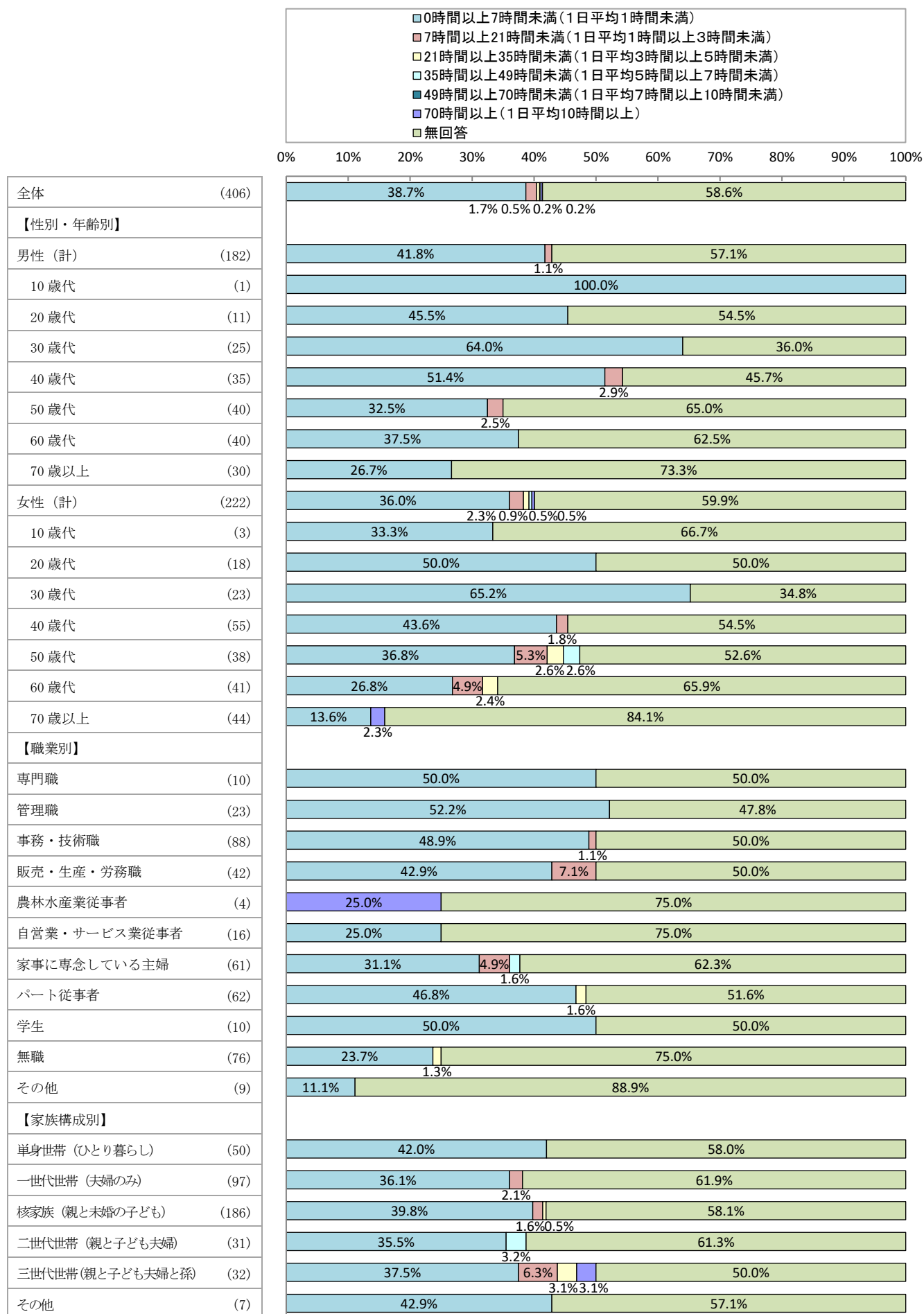
介護に費やした時間については、「0時間以上7時間未満」が38.7%で最も高く、次いで「7時間以上21時間未満」が1.7%、「21時間以上35時間未満」が0.5%と続いている。(図IV-12-5)

性別・年齢別でみると、「0時間以上7時間未満」は<女性/30歳代>が65.2%で最も高く、次いで<男性/30歳代>が64.0%と続いている。「7時間以上21時間未満」は<女性/50歳代>が5.3%で最も高く、「21時間以上35時間未満」も<女性/50歳代>が2.6%で最も高かった。(図IV-12-6)

職業別でみると、「0時間以上7時間未満」は<管理職>が52.2%で最も高く、次いで<専門職>、<学生>が50.0%と続いている。「7時間以上21時間未満」は<販売・生産・労務職>が7.1%で最も高く、「21時間以上35時間未満」は<パート従事者>が1.6%で最も高かった。(図IV-12-6)

家族構成別でみると、「0時間以上7時間未満」は<単身世帯(ひとり暮らし)>が42.0%で最も高く、次いで<核家族(親と未婚の子ども)>が39.8%と続いている。「7時間以上21時間未満」は<三世帯世帯(親と子ども夫婦と孫)>が6.3%で最も高く、「21時間以上35時間未満」も<三世帯世帯(親と子ども夫婦と孫)>が3.1%で最も高かった。(図IV-12-6)

<図IV-12-6>性別・年齢別/職業別/家族構成別

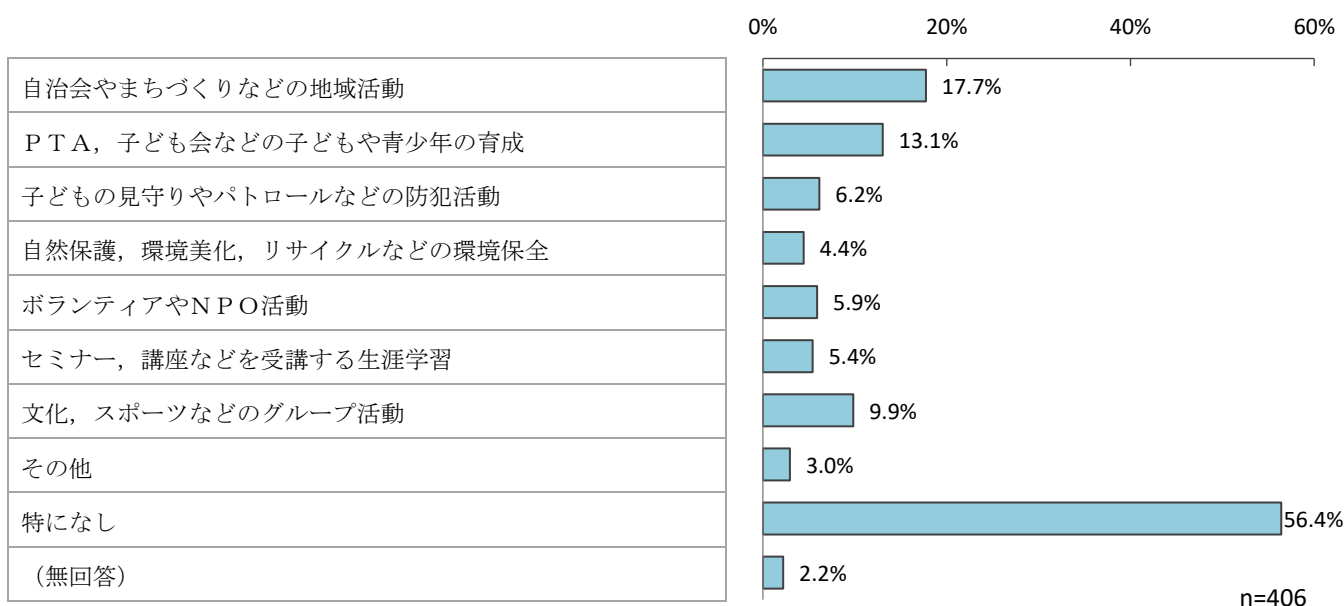


(2) 社会的な活動の実施状況

◇ 「特になし」が5割半ば

問37 現在、地域などで社会的な活動を行っていますか。		(〇はいくつでも)
		n=406
1	自治会やまちづくりなどの地域活動	17.7%
2	P T A, 子ども会などの子どもや青少年の育成	13.1%
3	子どもの見守りやパトロールなどの防犯活動	6.2%
4	自然保護, 環境美化, リサイクルなどの環境保全	4.4%
5	ボランティアやN P O活動	5.9%
6	セミナー, 講座などを受講する生涯学習	5.4%
7	文化, スポーツなどのグループ活動	9.9%
8	その他	3.0%
9	特になし	56.4%
	(無回答)	2.2%

<図IV-12-7>全体



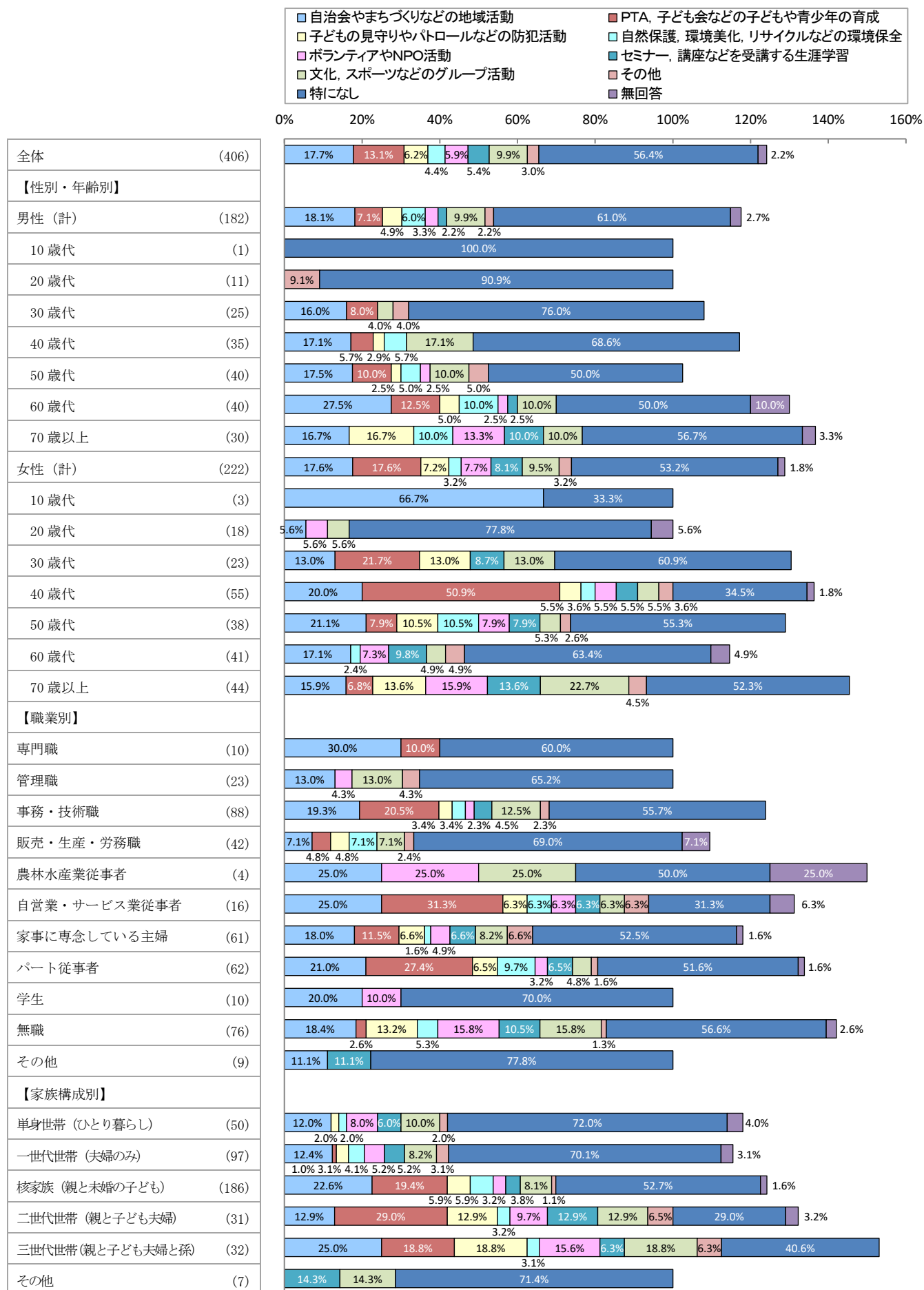
社会的な活動の実施状況については、「特になし」が56.4%で最も高く、次いで「自治会やまちづくりなどの地域活動」が17.7%、「P T A, 子ども会などの子どもや青少年の育成」が13.1%と続いている。(図IV-12-7)

性別・年齢別でみると、「特になし」は<男性/20歳代>が90.9%で最も高く、次いで<女性/20歳代>が77.8%と続いている。「自治会やまちづくりなどの地域活動」は<男性/60歳代>が27.5%で最も高かった。(図IV-12-8)

職業別でみると、「特になし」は<学生>が70.0%で最も高く、次いで<販売・生産・労務職>が69.0%と続いている。「自治会やまちづくりなどの地域活動」は<専門職>が30.0%で最も高かった。(図IV-12-8)

家族構成別でみると、「特になし」は<単身世帯(ひとり暮らし)>が72.0%で最も高く、次いで<一世代世帯(夫婦のみ)>が70.1%と続いている。「自治会やまちづくりなどの地域活動」は<三世代世帯(親と子ども夫婦と孫)>が25.0%で最も高かった。(図IV-12-8)

<図IV-12-8>性別・年齢別/職業別/家族構成別

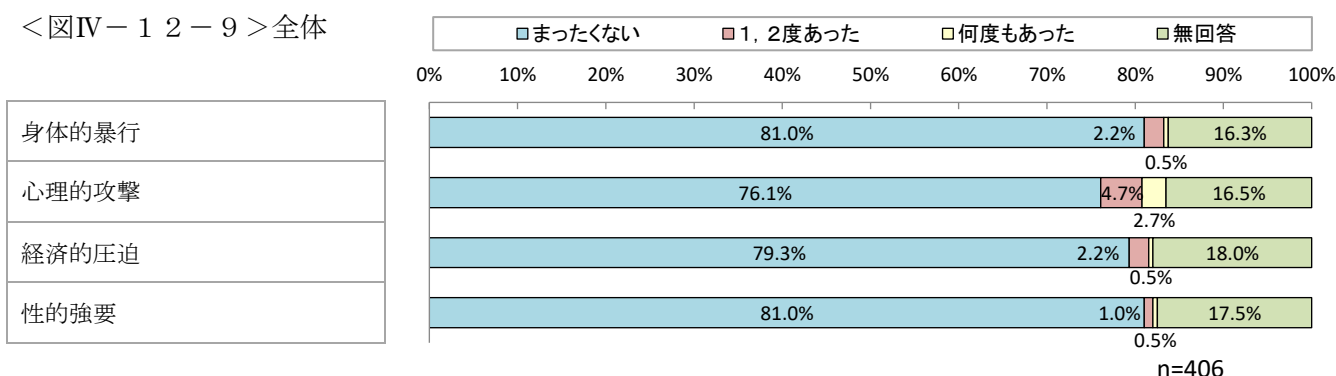


(3) 配偶者からの暴力を受けた経験

◇「何度もあった」と「1, 2度あった」を合わせた【経験あり(計)】は、「心理的攻撃」が1割弱

問38 過去1年間に配偶者から、次のような暴力を受けたことがありますか。次の各項目について、あてはまる番号に○をつけてください。		n=406			
		まったく ない	1, 2度 あった	何度も あった	無回答
1	身体的暴行 (例えば、なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行)	81.0%	2.2%	0.5%	16.3%
2	心理的攻撃 (例えば、人格を否定するような暴言、交友関係や行き先、電話・メールなどを細かく監視したり、長期間無視するなどの精神的な嫌がらせ、あるいは、自分もしくは自分の家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫)	76.1%	4.7%	2.7%	16.5%
3	経済的圧迫 (例えば、生活費を渡さない、給料や貯金を勝手に使われる、外で働くことを妨害されるなど)	79.3%	2.2%	0.5%	18.0%
4	性的強要 (例えば、嫌がっているのに性的な行為を強要される、見たくないポルノ映像等を見せられる、避妊に協力しないなど)	81.0%	1.0%	0.5%	17.5%

<図IV-12-9>全体



過去1年間に、配偶者から暴力を受けたことがあるかについて、「何度もあった」と「1, 2度あった」を合わせた【経験あり(計)】の割合は、「心理的攻撃」が7.4%で最も高く、次いで「身体的暴行」と「経済的圧迫」がそれぞれ2.7%、「性的強要」が1.5%であった。(図IV-12-9)

さらに暴力の種類ごとに性別・年齢別でみると、【経験あり(計)】が最も多かったのは、「心理的攻撃」で<女性/30歳代>が21.7%で最も高く、次いで「経済的圧迫」は<女性/30歳代>が8.6%、「身体的暴行」、「性的強要」は<女性/60歳代>がそれぞれ4.8%であった。(図IV-12-10~13)

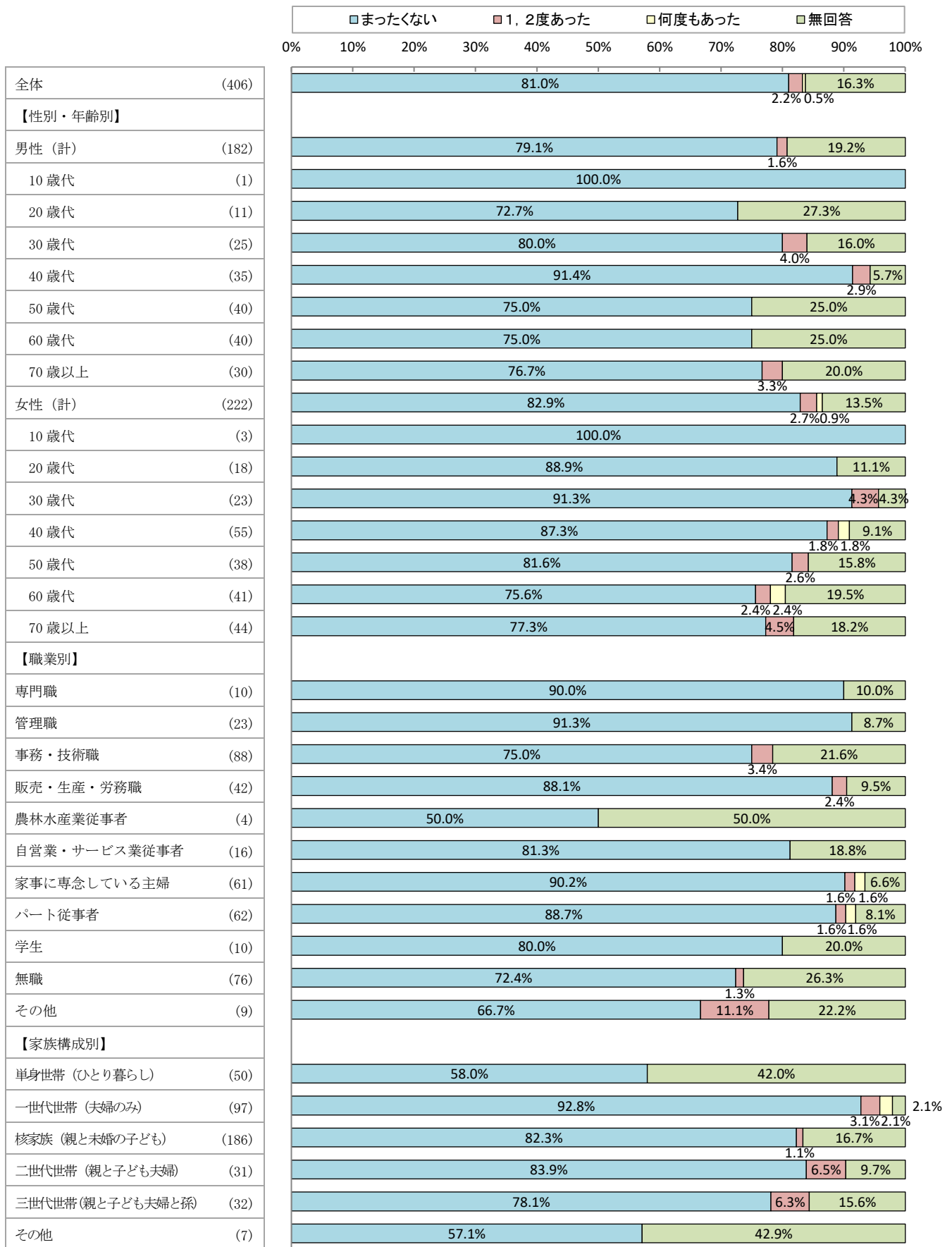
暴力を受けたことがある(総合)について性別でみると、【経験あり(計)】は<女性>は4.7%、<男性>は2.2%で<女性>が高かった。年齢別でみると、【経験あり(計)】は<女性/30歳代>は8.7%で最も高かった。(図IV-12-14)

暴力を受けたことがある(総合)について職業別でみると、【経験あり(計)】は<家事に専念している主婦>が6.2%で最も高かった。(図IV-12-14)

暴力を受けたことがある(総合)について家族構成別でみると、【経験あり(計)】は<二世帯世帯(親と子ども夫婦)>が7.2%で最も高かった。(図IV-12-14)

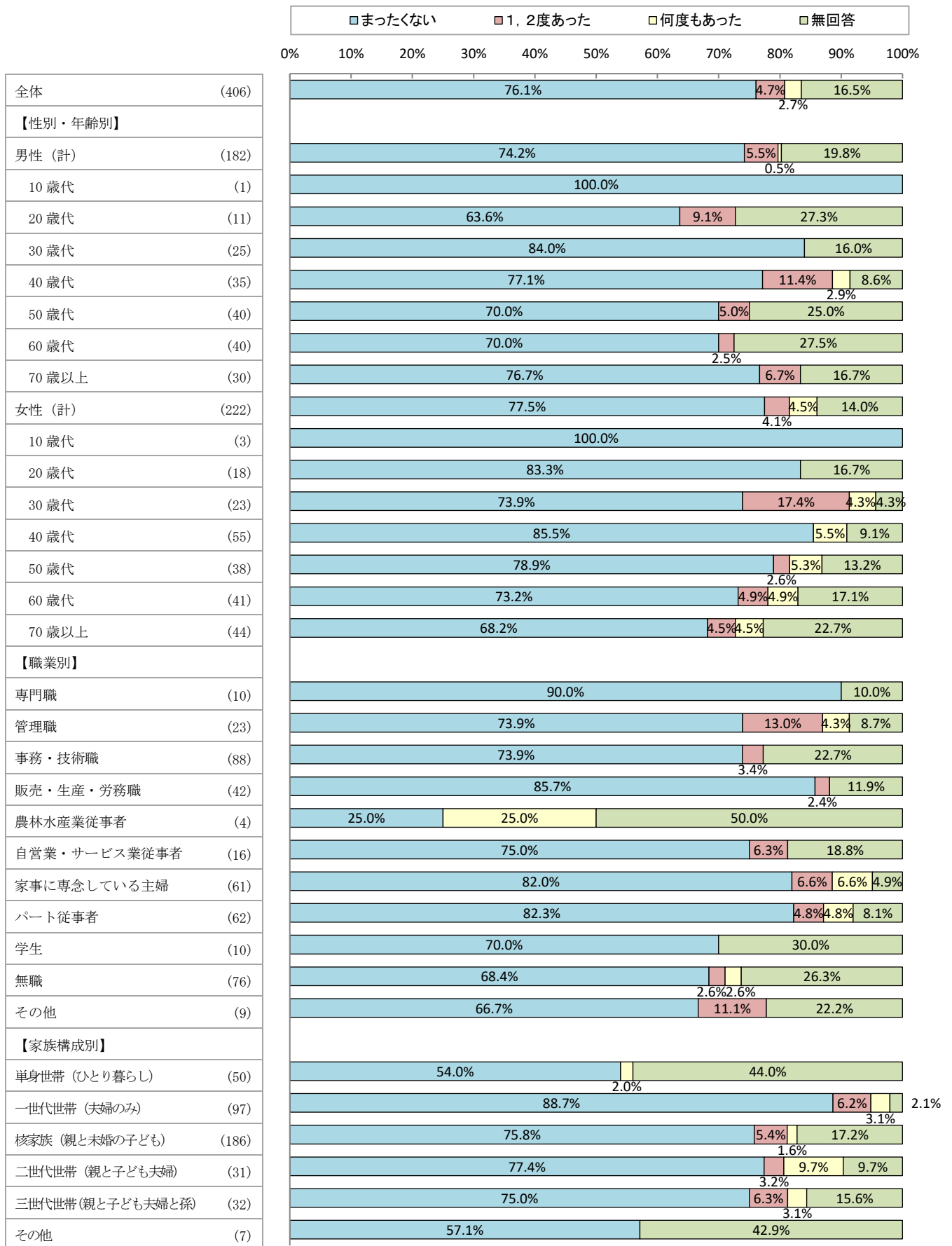
①身体的暴行

<図IV-12-10>性別・年齢別/職業別/家族構成別



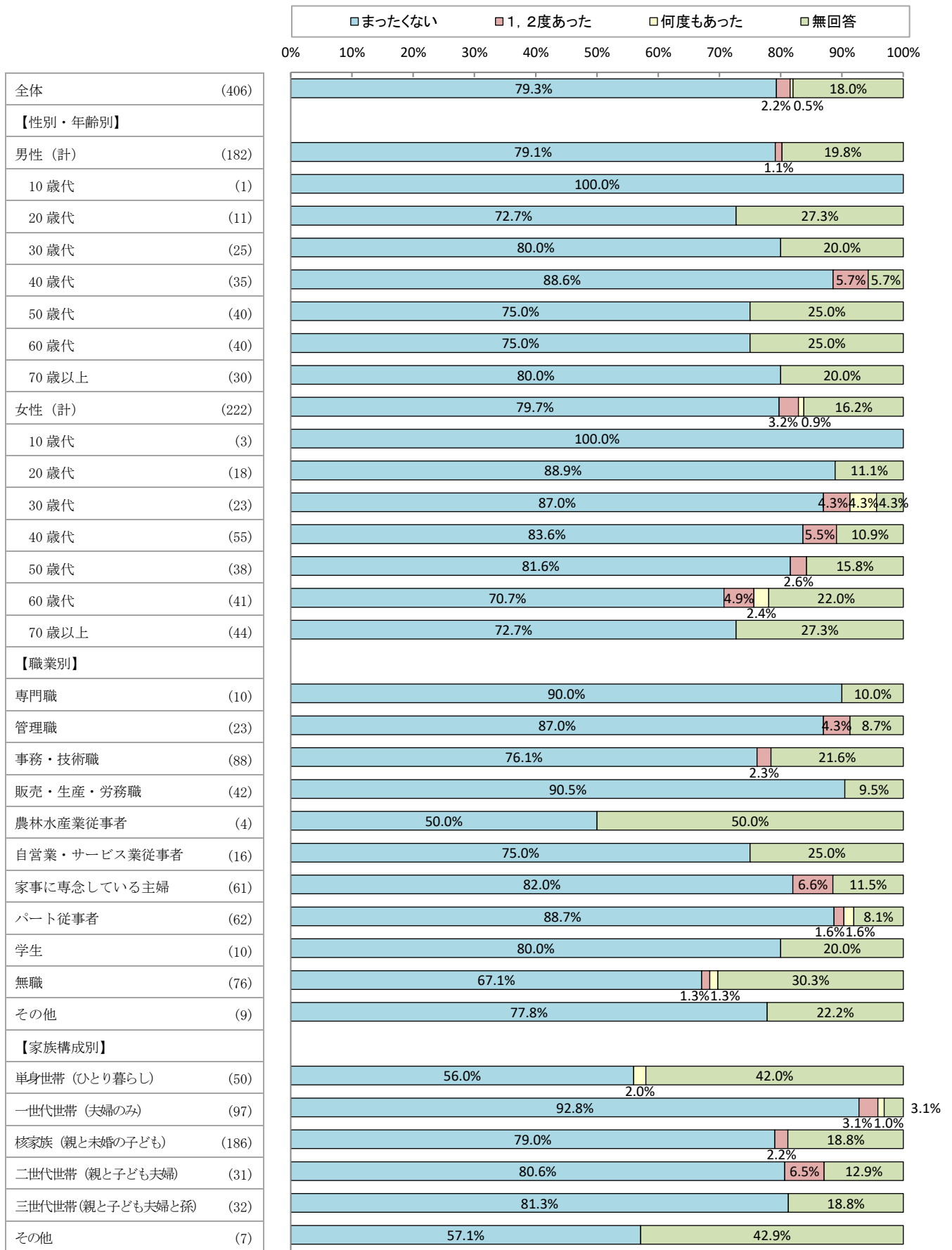
②心理的攻撃

<図IV-12-11>性別・年齢別/職業別/家族構成別



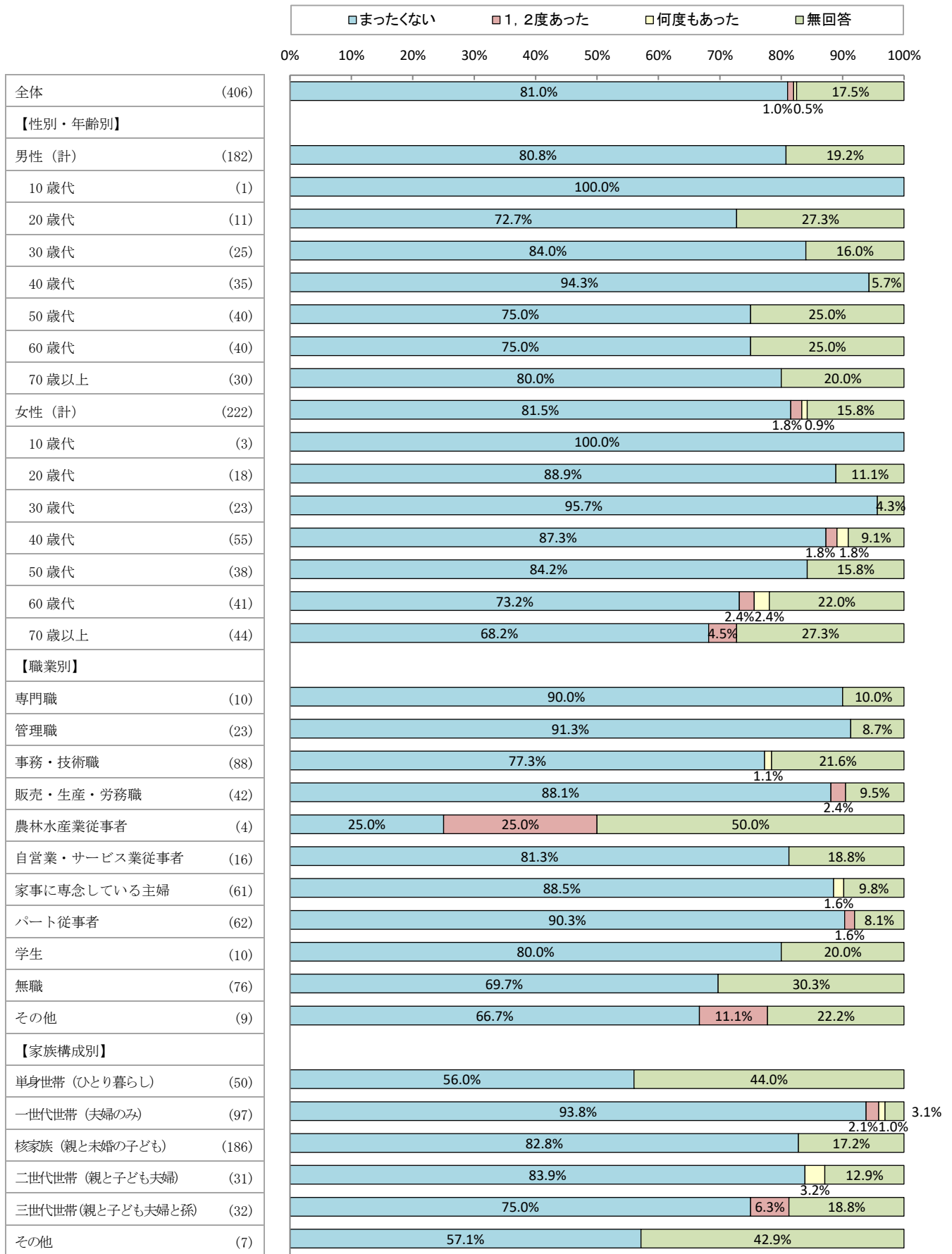
③経済的圧迫

<図IV-12-12>性別・年齢別/職業別/家族構成別



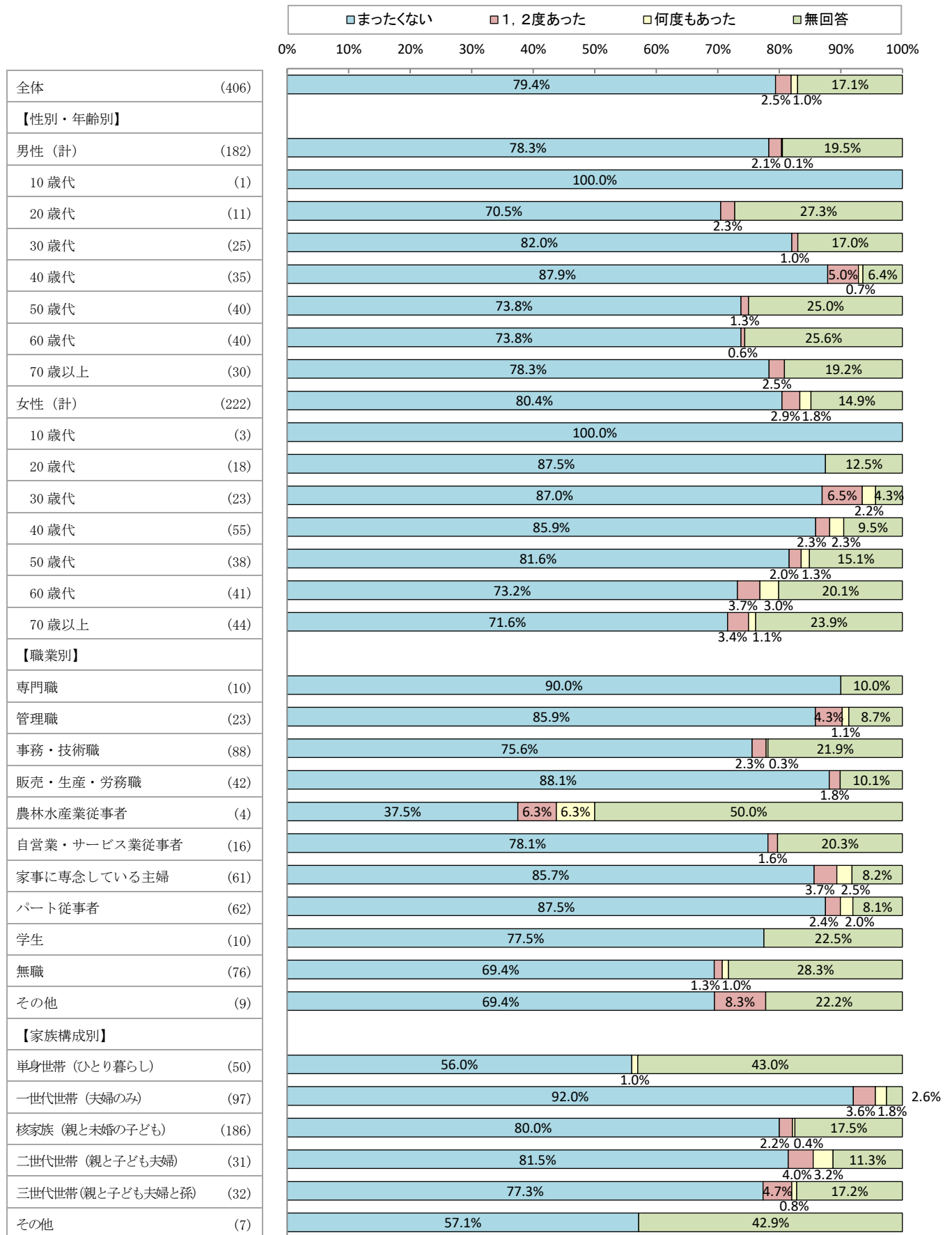
④性的強要

<図IV-12-13>性別・年齢別/職業別/家族構成別



●暴力を受けたことがある（総合）

<図IV-12-14>性別・年齢別/職業別/家族構成別



(4) LGBT (エルジービーティー) の認知度

◇ 「言葉も意味も知っている」が6割半ば

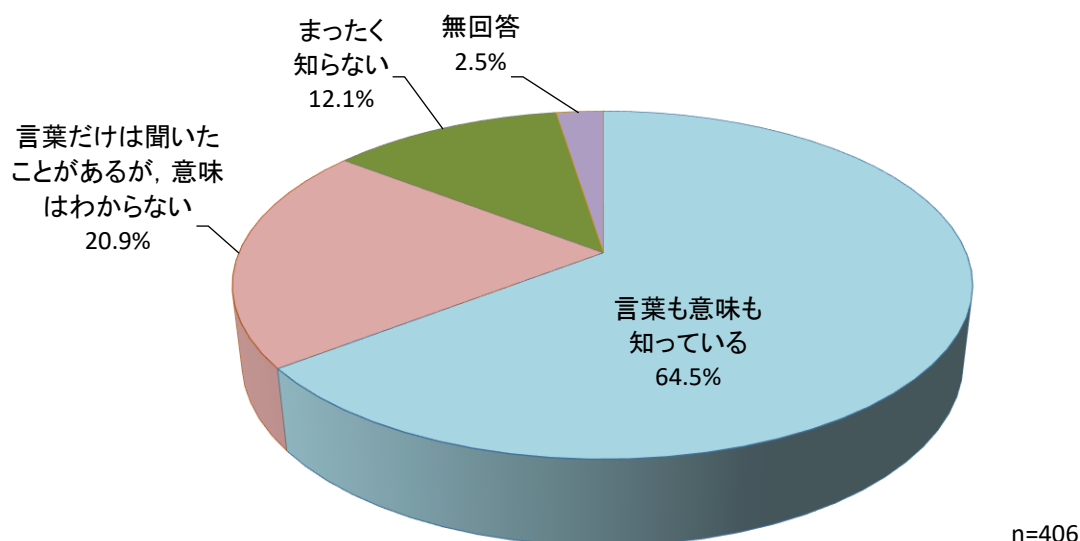
問39 LGBT (エルジービーティー) ※という言葉について聞いたことがありますか。
 ※L (レズビアン: 女性同性愛者), G (ゲイ: 男性同性愛者), B (バイセクシャル: 両性愛者),
 T (トランスジェンダー: からだとところの性が一致せず, 性別に違和感を覚える人) の4つの
 単語の頭字をとった言葉で, 性的マイノリティ (性的少数者) を表す総称のひとつ

(○は1つ)

n=406

1	言葉も意味も知っている	64.5%
2	言葉だけは聞いたことがあるが, 意味はわからない	20.9%
3	まったく知らない	12.1%
	(無回答)	2.5%

<図IV-12-15>全体



LGBT (エルジービーティー) の認知度については, 「言葉も意味も知っている」が 64.5% で最も高く, 次いで「言葉だけは聞いたことがあるが, 意味はわからない」が 20.9%, 「まったく知らない」が 12.1% であった。(図IV-12-15)

性別・年齢別でみると, 「言葉も意味も知っている」は<女性/40歳代>が 81.8% で最も高く, 次いで<女性/20歳代>が 77.8% と続いている。「言葉だけは聞いたことがあるが, 意味はわからない」は<女性/70歳以上>が 45.5% で最も高く, 「まったく知らない」は<女性/30歳代>が 17.4% で最も高かった。(図IV-12-16)

職業別でみると, 「言葉も意味も知っている」は<事務・技術職>が 83.0% で最も高く, 次いで<専門職>が 80.0% と続いている。「言葉だけは聞いたことがあるが, 意味はわからない」は<学生>が 40.0% で最も高く, 「まったく知らない」は<管理職>が 26.1% で最も高かった。(図IV-12-16)

家族構成別でみると, 「言葉も意味も知っている」は<核家族 (親と未婚の子ども)>が 72.6% で最も高く, 次いで<二世代世帯 (親と子ども夫婦)>が 64.5% と続いている。「言葉だけは聞いたことがあるが, 意味はわからない」は<単身世帯 (ひとり暮らし)>が 30.0% で最も高く, 「まったく知らない」は<三世代世帯 (親と子ども夫婦と孫)>が 25.0% で最も高かった。(図IV-12-16)

<図IV-12-16>性別・年齢別/職業別/家族構成別

